

ゴールボール J-STAR プロジェクトで恵君の練習を見に来てもらいました。

2024年12月7日にゴールボール練習会を行いました。スサノオアイズメンバーの山下 恵君が現在全日本強化選手の最終選考にリストアップされていることもあり、練習方法や地方ゴールボールの強化も含めて日本ゴールボール協会から塚越さん・前回パラ金メダリストの宮食さんが練習の指導に来ていただきました。また、愛媛から萩原先生も遠路はるばる練習に参加していただきました。(日帰りだそうです)

練習内容は普段の練習に加え、投げ方や守り方の詳しい指導をして頂きました。最後には4チームに分けた練習試合で皆で楽しむことが出来ました。金メダリストの投球は今まで受けてきたどの球よりも音がしないのに強烈な勢いで、バウンドボールは触れることも出来ずにゴールされてしまいました。たくさんの試合を経てわかる世界1位のレベルを肌で感じる事が出来ました。

日本代表選手にはレーベル病と色素変性症の方が多くいて、ゴールボールとたまたま出会う事ができたから今があるという宮食さんのお話を聞くことが出来て、たくさんの視覚障害の方にアプローチ出来るようなチームを作りたいと思いました。

視覚障害の方とふれあう機会が多い我々が出来ることはたくさんあると思うので今後も活動を続けていきたいです。

市岡 昇

※ J-STARとは

オリンピックやパラリンピックなど世界レベルの競技大会で輝く未来のトップアスリートを発掘するプロジェクトです



※スサノオアイズとは

1. 教授がゴールボールをネットでポチる
2. しばらく放置されていたが、某大学から帰ってきた佐野先生にボールが渡される
3. なんかできそうな気がしてやってみる
4. ゴールが無いからカラーコーンを立てたり、フットサルのゴールを並べてみたりする
5. 上手くならないし、なんか違うんじゃ…と思った佐野先生が血迷ってゴールを自費購入(楽天から「個人購入するものでありませんよ」とわざわざご連絡がくるが、大丈夫です、個人購入です)
6. ゴールがあると練習効果がUP!
7. 少しずつ上手になって楽しい
8. 大会にも参加 ←今ここ

という感じで活動しているチームです

この日の新しく教えて頂いた練習メニュー

- 定位置から3mライン触る → 戻ってゴールに背を付けてから再度定位置へ
→ 6メートルライン触る → 戻ってゴールに背を付けてから再度定位置へ (5セット)
- 定位置からディフェンス → ボールキャッチ → ゴールに背を付けた状態からスロー
→ 定位置へ戻る → ディフェンス・ボールキャッチ → そのままスロー → 定位置へ
(ボールなしで5セット)
- 壁あて(2人組で行う)
定位置から合図が聞こえたらディフェンスの体勢を取る
→ ボールを投げて手あるいは足先に当てる (手側・足側各5回)

宮食さんは簡単そうにやっていたですが、私は何度か迷子になりました

金メダリスト直々に投げてもらうなんて…



河野先生
挨拶の時はいなかった
のに気付いたらいた

金メダリスト直々の指
導を受ける間田くん



今日がゴールボール初体験の高木先生
ゴールボール協会の塚越さんからディフェンスの姿勢を指導されています（脚は閉じましょう）
高身長を活かしたい球を投げるので、このままゴールボールにはまって下さい

この位置でボールを保持
できるのが不思議



リリースポイントが
限りなく床に近い



宮食さんの投球

- ・早い
- ・ほとんど鈴の音がしない…
- ・当たったら絶対痛い

佐野先生の投球

- ・リリースポイントが床からまだ離れている
- ・体格は宮食さんとほぼ一緒
- ・という事は、まだまだ早いボールを投げられるようになる可能性が？

パリパラリンピックの金メダル!!

宮食さんからパリパラリンピックの金メダルを見せて頂きました
思っていた以上に重かったです
金メダルの裏面はテレビでも見たことがなかったので、貴重な機会でした
裏面はエッフェル塔を下から見上げた光景がデザインされているそうです
メダルの脇に、種目名（ゴールボール）が刻印されていました



金メダル表



金メダル裏側



ゴールボール初体験だったORTの藤野君
非常に痛いアクシデントの後でも頑張って練習参加してくれました



佐野先生一生の思い出となる1枚

注) 金メダリストはあくまで左側の宮食さんです



撮影：問田くん

最後にみんなで記念撮影